

平成 29 年 9 月 13 日

行財政改革・大都市制度調査特別委員会

企画調整部 企画課  
総務部 人事課  
市民部市民協働・地域政策課

## 新たな行政区、行政サービス提供体制について

～ 持続可能な行政区、行政サービス提供体制の協議・検討 ～

### ◆ 配付資料 ◆

- ・ 区政と専門性の確保について

# 区政と専門性の確保について

総務部 人事課

## 1 区役所サービスにおける専門職の分散の状況

H29.4.1 現在、各区役所には、管理栄養士や歯科衛生士、保健士等の専門職が配属されている。

【H29.4.1 現在、管理栄養士、歯科衛生士及び保健師（正規）の配属状況】 (単位：人)

職種（配属） ※主な業務	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	合計
管理栄養士又は栄養士 （健康づくり課） ※栄養指導等業務	1	1	1	1	2	2	2	10
歯科衛生士（健康づくり課） ※歯科保健指導等業務	0	1	2	1	1	1	1	7
保健師（社会福祉課） ※家庭児童相談等業務	4	2	2	2	2	2	2	16
保健師（長寿保険課） ※介護・高齢者関係業務	2	1	1	1	1	1	1	8
保健師（健康づくり課） ※母子相談等業務	25	14	16	12	18	14	15	114
（保健師 小計）	31	17	19	15	21	17	18	138
<b>合 計</b>	<b>32</b>	<b>19</b>	<b>22</b>	<b>17</b>	<b>24</b>	<b>20</b>	<b>21</b>	<b>155</b>

※中区健康づくり課の歯科衛生士が0人なのは、当該業務を口腔保健医療センターの歯科衛生士が担っているため。

## 2 区役所サービスにおける専門職の分散の課題

### (1) 人材育成や事務の引継ぎが困難

先輩・後輩によるOJTを通じた人材育成や、事務の引継ぎができない。

### (2) 専門職の休暇取得や繁忙期におけるフォロー体制の構築が困難

休暇(病気等の長期療養を含む。)を取得した際や繁忙期のフォロー体制の構築が困難である。

## 3 サービス拠点再編の必要性

### (1) サービス拠点数とサービスの質の二律背反性

「市民のアクセスの容易さ」の点ではサービス拠点数が多い方が良い一方で、政令市として一般市町村以上に専門性の高い市民サービスを提供している本市においては、上記2の課題にもあるとおり「サービスの質の確保」という点では、専門職員を集中的に配置した方がよいという二律背反の問題があった。

### (2) 今後の方向性

これまで、保健所業務、環境保全業務や税務事務に関する組織を見直し、獣医師・薬剤師・技術(化学)等の専門職員や税務職員の集約を行ってきた。

政令市移行後10年を迎えた今、これからも持続可能で安定的な行政サービスを機動的に行っていくためには、日常的・定例的な市民サービスは協働センター等で提供する一方、専門的市民サービスについては、さらなる提供拠点の集約を行う必要がある。